

平成29年度 就業支援スキル向上研修カリキュラム

【目的】

関係機関において就業支援を担当しており3年程度以上の実務経験を有する職員を対象として、総合センターにおける研究及び技法開発の成果を中心としたより実践的・応用的な障害別の就業支援に関する専門的な知識・技術の向上を図ることを目的とする。

区分	科目名	講師	具体的実施内容	時間 (分)
全 コ ー ス 共 通 講 座	職業リハビリテーションにおけるヒューマンスキル	障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部	【講義・演習】 障害者の就業支援において求められるヒューマンスキルに関する講義・演習を実施。	250
	職業リハビリテーションに関する調査・研究の最新情報 ～「就労支援機関と精神科医療機関の効果的な情報交換のあり方に関する研究」より～	障害者職業 総合センター 研究部門	【講義】 障害者職業総合センターにおける職業リハビリテーションに関する最新の調査・研究に関する講義を実施。 今年度は「就労支援機関と精神科医療機関の効果的な情報交換のあり方に関する研究」で得られた知見をもとに、職業リハビリテーションにおける就労支援機関と精神科医療機関との効果的な情報交換の進め方についての講義を実施。	60
コ ー ス 別 講 座 (精 神 障 害 コ ー ス ・ 発 達 障 害 コ ー ス ・ 高 次 脳 機 能 障 害 コ ー ス)	就業支援の実際 ～職業準備性の向上や 職場定着に関する支援 技法の活用～	障害者職業総合センター 職業センター	【講義・演習】 障害特性等に応じた次の支援技法に関する講義・演習を実施。 ・精神障害コース：「ストレス対処講習」の概要、認知行動療法の考え方、セルフトーク、「体験整理シート」の書き方、「体験整理シート」を利用した相談（演習） ・発達障害コース：職場対人技能トレーニング（JST）、問題解決技能トレーニング、ナビゲーションブックの作成と活用 ・高次脳機能障害コース：補完方法習得に関する支援方法、職場復帰に係る職務再設計支援	310
	ケーススタディ	障害者就労支援機関 障害者職業総合センター 職業センター 地域障害者職業センター 障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部	【事例検討】 受講者全員が事前提出した支援事例をもとに小グループでの事例検討を実施（一部事例についてはスーパーバイザーが同席して助言を実施）。	230
合 計				850